

しなやか通信 第24号

2008年 夏

輝き続けることを望み手作りの活動を!

発行 しなやかシニアの会
事務局 リュエルしなやか 代表 佐藤 明子
住所: 520-0043 大津市中央1丁目8-27
電話: 077(558)7233
e-mail: shinayaka077@nifty.com
HP: http://www.shinayakashinia.com/

うだるような暑さが続きます。原因はともあれ、地球の温暖化をいやでも体感させられます。「活動的なシニア」を目指したいとの気持ちもこの暑さの前では萎えがちです。反対に元気なのが雑草たちです。7月初めの琵琶湖清掃で地域こぞって草を刈りましたが、直ぐにまた生い茂ってしまいました。でもこれはちょっと見方を変えると、それだけ日本(大津)の土壌が肥沃だということの現れでしょう。こんな風に考えると、いたるところ雑草だらけの大地も、そして草木に降り

注ぐ太陽や雨もとてもありがたいと感じます。地球上では広い範囲で自然破壊による砂漠化が進んでいると聞きます。同じ大地でありながら、こちらは草一本も生えないのですから不思議です。かつて大河と肥沃な土地で四大文明として栄えた所も、大半が砂漠となっています。日本がそうならないように、ずっと未来の子供たちにこの豊かな緑を残すために、少し涼しくなったら、また伸び放題の雑草と格闘です。



今年も楽しかった フラダンス&ハワイアン

雨の心配が当日になっても消えぬ中、会場になったレストラン「ビュルツブルグ」を貸切にし、生バンド・フラダンスを今年も熱く楽しんだ。

演奏者・フラダンスの方たちの位置取りを始め、少々会場側の方に任せてしまった感があり、もう少し主体的に進めなければ、という課題も一方では残したが。

『結婚したがる子供達と結婚させたい親』と言うテーマで世代間交流を企画しました。「おもしろいテーマですね」と多くの方に興味を持ってもらったものの、実際に参加してくれた勇気?ある若者は2人のみ。しかし彼等との対話は本当の親子ではない気楽さ故に、逆に本音に近づけた部分もあるのかもしれない。

戦後復興期に育った私共・親世代と、変化とスピードの現代に生きる子供達。感覚のズレ、価値観の食い違いはあまりにも大きく、それが親子のコミュニケーションを阻んでいるような気がします。

今回の企画は若者編でしたが、親世代のシニアの皆様。次は居心地の良さに、なかなか出ていこうとしない子供達の追い出し作戦を御一緒に考えませんか?
(西川)



世代間交流を終えて



しなやかなつばき

人の子の泣き声マックスに蝉時雨

我が家の裏手に墓地がある。蝉時雨に打たれて起こされたような休日の朝、低い読経に混じって参拝者の話し声が風に乗って聞こえてくる。突如、幼子のぐずって泣くのが高く響いてきた。まだ言葉がうまく使えない、たぶん二歳になるかならないか位の時の愛しげな声だ。たぶん大人達は汗拭っていることだろう。そんなこともお構いなしの遠慮のない高らかな泣き声は軒の風鈴よりも、甲子園球児のような清涼感があった。ほら、もっと大きく泣いてごらん!と胸中で私はよびかけた。

近頃の私は赤ん坊の泣き声をお気に入りの環境音楽の一つにしている。このようにおもうのも、私の人生が、もはや晩秋期に入ったというしるしであるうか。(岩美 明子)

スケッチ倶楽部予定

- 8月28日(木) 水生博物館
- 9月18日(木) 水環境科学館(矢橋) 現地集合
- 10月9日(木) 大津丸屋町曳山(集合:リュエル)